

授業のうまい教師になりたい！



1 「君は若い。何度でもやり直せる。でも、子どもの時間にやり直しはきかない」

にぎやかだった学級も落ち着き、たくさん
の行事を乗り越えて、少し自信がついてきた
3学期のはじめ、ある先生が私の授業をのぞ
きにきてこんなことを言いました。

優しく何にもおっしゃらない指導教官とは
違って、私の初任者研修の後補充の先生は、
少し気難しそうなベテランの先生でした。

時々、私の授業をのぞきにきては、一言、
厳しい言葉を残していきます。ありがたいの
ですが、正直なところやりづらいところもあ
りました。

その先生が授業の後で私に言ったのです。
「君はまだ若い。この授業を失敗しても、ま
た何度でもやり直せる。でも、今、目の前に
いる子どものこの時間はもどらない。やり直
しはきかないのだよ」
…今でも忘れられない言葉でした。

2 ふと、気付いたら…

はじめて教壇に立った頃、毎日の授業は闘
いでした。教科書をしっかり読んで教材研究
をし、授業の流れや時間配分、板書計画をし
っかりたてないと、怖くて授業ができません
でした。予習や準備が大変で、毎日帰るのが
遅かったこともあります。

それが、だんだんとコツを覚え、要領よく

なり、なんとなく指導書をちらっと見れば、
授業がわかるようになってきて…。それを成
長といえれば聞こえはいいかもしれませんが、
「慣れ」はこわいな…と感じさせられます。
大きな失敗はしなくなっても、もつと工夫で
きたなあとか、いまいち子どもが乗ってこな
いなあ等の小さな反省は毎日で、でもそれを
「忙しいから」「まだ新米だから」とごまか
していました。

そんなある日、ふと不安になりました。
「こんな毎日の繰り返しで、私、いつになっ
たら授業がうまくなるのだろうか…」と。

3 忙しい日々の中でも

不安になったので、空き時間に他の先生の
授業を見学させてもらい、勉強しようと思
いました。いろいろな先生のいろいろな授業の
技を見ることが本当に勉強になります。なか
にはびっくりするくらい授業のうまい先生も
いらっしやいます。

同じ学校の教務主任の先生は、毎日、学校
全体の仕事で忙しいはずなのに、子どもたち
を引き付ける魅力的な授業をします。

その先生は、「さすがに全部の授業を完璧
に準備することは難しいけれど、『この単元
だけは絶対に準備する』と決めて、教材研究
や準備に取り組んでいくと、自分の中の気持
ちのあり方や、子どもの反応も変わってくる
わ」とおっしゃっていました。

それいけ!

新米先生

以下、私が教わった授業のポイントをいくつか紹介します。

(1) めあてをもって

この時間では何を教えるのか、何ができるようにするのかをはっきりさせる。その際に、たくさんのめあてをもたない。1時間にひとつにしぼっていく。

(2) まず、引きつける

導入では、子どもの心をつかむ。興味を引きつける話題や質問、写真や小道具を準備しておく効果的である。ただし、授業の展開につながる提示の仕方でなければ意味がない。時々、意味のない質問や手品などをして先生を見かけて心配になる。

(3) 板書は計画的に

板書は授業の終わりに黒板を見たら、1時間の授業の流れがわかるようにする。計画的に配置し、書いた部分を消さないようにするのがよい。視覚的に効果があるように、チョークの色使いも考えるとよい。

(4) 子どもの活動を入れて

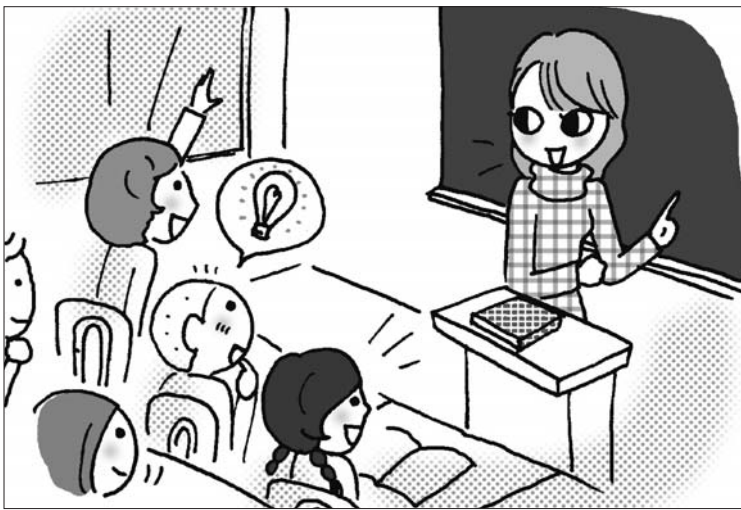
1時間の中に、1回は子どもの活動を入れる。教師の話聞いて黒板を写して終わりにしないように。授業にメリハリがついて子どもの集中力も保たれる。

(5) 自分の考えをしっかりもたせて

友達の意見を聞いて、それで終わりにさえずに、ひとりひとりに予想を立てさせたり、感想や考えをもたせたりする時間を確保すること。考えをもたない授業は、子どもの力がつきにくい。

(6) 子どもの評価は自分の評価

めあてにそって子どもが「できた」ことは自信につなげ、「できなかった」ことがあれば、自分の指示や展開に改善点はないかを見直し、次に生かす。1時間ごとに丁寧に見とっていくと大幅に遅れる子が少なくなる。



4 授業で勝負したい

遊んであげること、話を聞くこと、子どもと接するうえで大切なことはたくさんあります。でもやっぱり、私は授業で勝負できる教師になりたいと思います。子どもと一緒にいる学校生活の中で一番長い時間は授業時間ですから。

授業のうまい先生は素敵です。授業中の子どもの目が信頼できらきらしています。いつまでも若さでフォローはできないから、きちんとした実力をつけていきたいですね。

5 学び続ける気持ちをもつこと

今ではもう私に厳しい言葉をくれる先生はいませんが、時々なつかしくなります。厳しいことを言ってくれる先輩は本当にありがたいです。

忙しい日々の中でも、毎日の繰り返しの中でも、学び続ける気持ちをもつことが大切だと思います。

新米先生もだんだん慣れてきて授業準備にかかる時間が減ってくるかもしれません。自分で納得するような授業ができることは本当には少ないですが、満足のいく授業ができた時には子どもの反応は全然ちがってきます。それは、教師として一番嬉しいことだと思います。毎日の授業を一緒に頑張っていきたいと思います。